

令和8年度 HIV感染症研修会・HIV医療におけるコミュニケーションとチーム医療研修会プログラム

H I V感染症研修会		H I V医療におけるコミュニケーションとチーム医療研修会
場所：国立病院機構大阪医療センター 緊急災害医療棟 2階 視聴覚室・研修室 またはWeb会議システム「Zoom」による参加		場所：国立病院機構大阪医療センター 緊急災害医療棟 2階 研修室
第1日 令和8年10月5日(月)	第2日 令和8年10月6日(火)	第3日 令和8年10月7日(水)
受付 12:30-13:00(30分)	受付 8:40-9:00(20分)	受付 9:20-9:35(15分)
13:00-13:10(10分) 「開会挨拶」 国立病院機構大阪医療センター 院長 松村泰志	⑦ 9:00-9:45(45分) 「外来・病棟看護と療養支援」 国立病院機構大阪医療センター HIVコーディネーターナース 東政美	9:35-9:45(10分) 「開会挨拶」 研修会説明・諸注意
研修会説明・諸注意	⑧ 9:45-10:30(45分) 「性感染症」 国立病院機構大阪医療センター 感染症内科医師 廣田和之	9:45-11:10(85分) ①講義「話しにくい話題を取り上げて話すには？」 (セクシュアリティと援助的コミュニケーションの基礎知識や具体的工夫) コラボレーション実践研究所長/大阪府立大学名誉教授 山中京子 氏
① 13:10-13:55(45分) 「HIV/AIDSの基礎知識と疫学」 国立病院機構大阪医療センター エイズ先端医療研究部長 渡邊大	休憩 10:30-10:40(10分)	(内容) 陽性者理解の基礎として、セクシュアリティについての基礎知識の確認となる講義と、援助的コミュニケーションの基礎的技法と“話しにくい話題”を取り上げて話す際の工夫についての講義
② 13:55-14:25(30分) 「HIV感染症の診断」 国立病院機構大阪医療センター 感染症内科医師 小西啓司	⑨ 10:40-12:10(90分) A:症例検討 (医師・薬剤師向け) 感染症内科医師(中嶋) 薬剤師(中内) B:症例検討 (多職種との連携) HIVコーディネーターナース(東)、 MSW(大塚)、薬剤師(矢倉)、 臨床心理士(西川) 対象:医師・薬剤師向け 対象:どなたでも 3階 VIPルーム 2階 研修室	休憩 11:10-11:20(10分)
休憩 14:25-14:35(10分)	※申込時にご希望をご選択ください。人数の都合によりご希望に沿えない場合もございますので予めご了承ください。	11:20-12:20(60分) ②「陽性者支援とセクシュアリティ～日々の業務で感じること～」 国立病院機構大阪医療センター薬剤部 HIV医薬安全係/主任薬剤師:中内崇夫 " 看護部 HIVコーディネーターナース:河村湖々
③ 14:35-15:20(45分) 「抗HIV薬の特徴と薬剤師の役割」 国立病院機構大阪医療センター 薬剤部 主任薬剤師 中内崇夫	休憩 12:10-13:10(60分)	(内容) HIV医療に携わるようになって感じた陽性者支援の難しさ、他疾患との違い、特にセクシュアリティに関して日々の業務で感じていることや、実際の支援での創意工夫などについて、インタビュー形式でこれまでの経験を語る。
④ 15:20-16:05(45分) ディスカッション「抗HIV療法の実際」 国立病院機構大阪医療センター エイズ先端医療研究部長 渡邊大 薬剤部 主任薬剤師 矢倉裕輝	⑩ 13:10-13:55(45分) 「HIV感染者における消化管病変」 国立病院機構大阪医療センター 消化器内科 医長 榊原祐子	休憩 12:20-13:20(60分)
休憩 16:05-16:15(10分)	⑪ 13:55-14:40(45分) 「HIVとカウンセリング」 国立病院機構大阪医療センター 臨床心理室 主任心理療法士 安尾利彦	13:20-14:05(45分) ③講義 「多職種連携・協働に必要なチームコンピテンシー」 コラボレーション実践研究所長/大阪府立大学名誉教授 山中京子 氏
⑤ 16:15-17:00(45分) 「日和見感染症診療-PCPを中心に-」 国立病院機構大阪医療センター 感染症内科医師 上地隆史	休憩 14:40-14:50(10分)	(内容) チーム医療の実践に必要な多職種連携・協働の基礎知識、チームコンピテンシー、チームモデルについての講義
⑥ 17:00-17:45(45分) 「地域で暮らすHIV陽性者の療養生活を支える ～医療ソーシャルワーカーにできること～」 国立病院機構大阪医療センター 医療福祉相談室 医療社会事業専門員 岡本学	⑫ 14:50-15:35(45分) 「血友病診療・凝固因子製剤の使い方」 国立病院機構大阪医療センター 血友病科・感染症内科 医長 西田恭治	休憩 14:05-14:10(5分)
	⑬ 15:35-16:35(60分) 「薬害エイズ」と HIV医療体制 特定非営利活動法人 ネットワーク医療と人権(MARS) 理事長 花井十伍 氏	14:10-16:50(160分) (途中適宜休憩あり) ④多職種による事例検討 「セルフケアに困難を抱える事例」 (昨年度までと同じ事例を取り上げます) 司会進行/コメンテーター コラボレーション実践研究所長/大阪府立大学名誉教授 山中京子 氏 事例提示 国立病院機構大阪医療センター 臨床心理室 心理療法士 牧寛子 事例への補足説明・コメント 国立病院機構大阪医療センター 看護部 HIVコーディネーターナース/副看護師長 東政美
	16:35-16:40(5分) アンケート回答	(内容) 提示された事例に対し、参加者(医師、看護師、薬剤師、MSW等)は小グループ討議・発表しながら、事例への理解を深め、その職種(個人)としての対応と、チームでの対応について考えていく
	16:40-16:45(5分) 「修了証授与」・「閉会挨拶」 国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS先端医療開発センター長 上平朝子	16:50-17:00(10分) アンケート回答・閉会